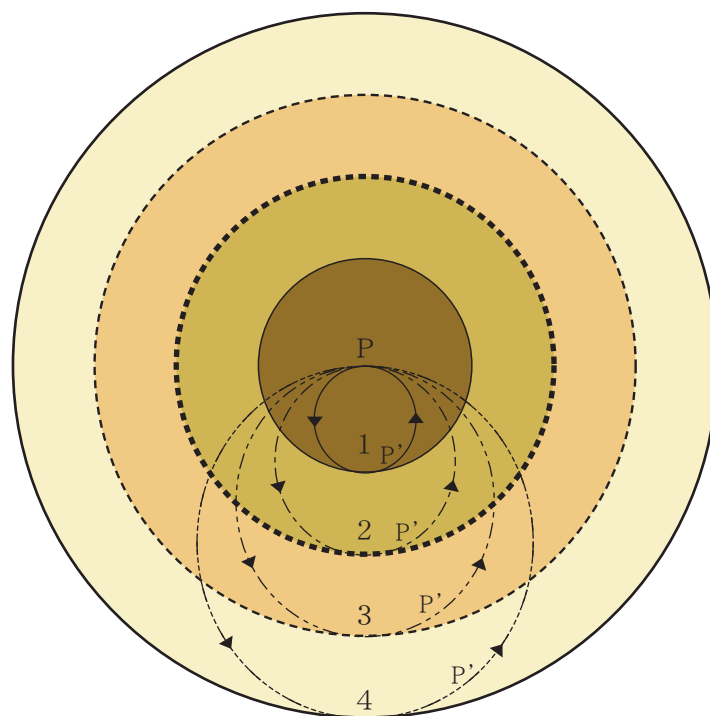


郡山女子大学大学院

人間生活学研究科 人間生活学専攻
修士課程・博士（後期）課程

入学者選抜実施要項

2022年9月入学
2023年4月入学



学校法人 郡山開成学園

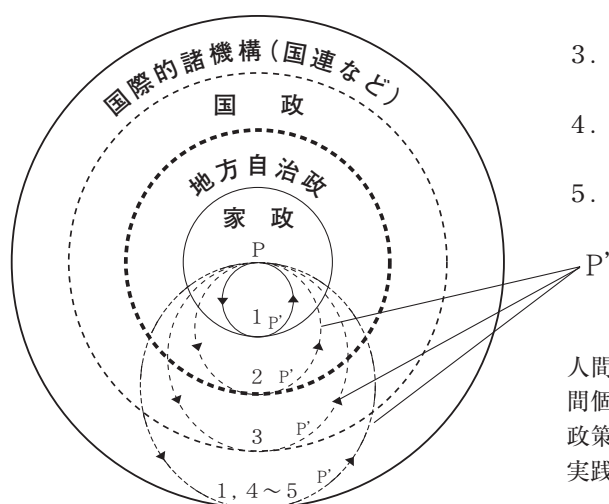
本学大学院の家政学

家政学の対象とするのは、人と人との関わり、人と物との関わりによって成立する人間の生活であり食物領域、被服領域、住居領域、児童領域ならびに家庭経営領域の5つに大別される。これら諸領域に立脚しながら、人間生活について総合的な視野を持ち、自立して研究し問題解決に取り組む能力を付与する事を目的としている。依って、人間生活学研究科の名称で大学院前期課程、後期課程を開設している。

大学院では家政学の一つの領域を深く研究することになるので、終了要件を満たした者には修士（家政学）、博士（家政学）の学位が授与される。

左図の凡例

家政と公的政策の関連図



1. 家 政…家族・個人生活の維持向上
2. 地方自治政…特色ある地域住民の生活の便益と安定のための施策
3. 国 政…特色ある国民の生活について、その特徴を発揮することの施策
4. 国 連 活 動…世界人類の安全と平和、生存と生活のための協調と実践の方法
5. 福 祉 生 活…各国のすべての国民が自立と協調の中で、人間守護の理念にもとづく福祉生活をめざす

人間守護の理念は、左記1, 2, 3, 4, 5において、人間個人、家族生活、人類の生きるための中核理念として各政策に位置づけ、人間守護理念のもつ福祉の本質的意味を実践に移す。

P — 家政哲学 (Philosophy of Home Economics)
……住むことによる人間守護の理念
P' — 政治行為 (Politics) ……同上の実践

郡山女子大学大学院の概要

目的及び特色

本大学院人間生活学研究科人間生活学専攻は、人間の生活に関する総合的な学問研究をはかり、広く精深な学識と研究能力を養い、今日の人間生活において最も重視すべき人間の在り方を中心として、これにかかる研究者並びに高度な専門職業人の養成を行うことを目的とする。

本研究科は、本大学家政学部生活科学科および食物栄養学科（四年制）を基礎とし、修士課程（二年）、さらに博士（後期）課程（三年）を設置している。

人間生活学研究科は家政哲学による「人間守護」の理念に基づき、新しい時代の人間生活の充実発展に寄与することを目的として全国にさがかけて開設し、人と物との関わりにおいて、人間を中心とし、人間の生活を護り、このことを一層向上させるために他の分野の学問をも駆使して、総合的かつ専門的に学ぶことを特色としている。

○修士課程の教育課程は、人間学系Ⅰ・Ⅱ、生活学系、及び生活科学系の三学系46科目よりなり、哲学をベースとして人間守護の理念を基に、各学系が関係しつつ研究を進めるという新領域で、人間の生活という総体に対して総合的に研究をするものである。同時に、総合的な理論（theory）の研究とともに、理論の行為化である実践（practice）の意味を究明し、例えば食と福祉と建築の領域における高度な専門的職業人としての能力の修得を図るものである。

○博士（後期）課程においては、修士課程と連動し、人間学系Ⅰ・Ⅱ、生活学系、生活科学系の合わせて18科目をもって集中的、構造的に授業科目を編成し、家政学～生活学の原理論の確立をはかり、人間の最も根源的在りどころとしての家庭～家政学の本質を究明し、広く、地域、国～世界での生活上の安定のための方途を樹立する。

本大学院修士課程修了者修士（家政学）・博士（後期）課程修了者博士（家政学）の進路

□修士課程

- ①衣・食・住・社会福祉・介護・生活環境など、多様な生活領域に関する広く深い学識に基づく生活の研究者
- ②高度専門職業人としての管理栄養士・社会福祉士・介護福祉士・一級および二級建築士
- ③専修免許状取得者としての高校・中学家庭科教員
- ④修士号と管理栄養士資格をもつ大学・短大の教員
- ⑤消費者・生活者関連行政を担当する公務員
- ⑥知識基盤社会を多様に支える高度で知的な素養のある人材

□博士課程

- ①家政学及び生活学の原理論を研究し、家政学や栄養学を担当する大学教員
- ②行政機関における消費者・生活者問題に関する高度な専門研究者
- ③家政学の高度な知識により企業と消費者をつなぐ企業社員
- ④豊かな学識をもって生活問題を解説するジャーナリスト

アドミッション・ポリシー

□修士課程

人間生活について総合的な視野を持ち、専攻分野の研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度な能力を有する人材を育成する。生活研究者、高度の専門性を有する管理栄養士・社会福祉士・介護福祉士・一級及び二級建築士、専修免許状家庭科教員、修士号・管理栄養士資格をもつ大学・短大教員、生活関連行政担当公務員、知識基盤社会を支える人材、などをを目指す学生を希望する。

□博士課程

専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するのに必要の高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を有する人材を育成する。家政学や栄養学を担当でき、博士号を有する大学教員、行政機関での生活問題専門研究者、高度な人間生活学の知識により消費者と企業をつなぐ企業社員、生活問題解説ジャーナリスト、などをを目指す学生を望む。

1. 募集定員

【2023年4月入学】 計10名

人間生活学研究科 人間生活学専攻（修士課程）

一般選抜・社会人特別選抜（若干名）・外国人留学選抜（若干名）・特待生選抜・昼夜開講制（若干名）

【2022年9月入学】 若干名

人間生活学研究科 人間生活学専攻（修士課程）

一般選抜・社会人特別選抜（若干名）・外国人留学選抜（若干名）・特待生選抜・昼夜開講制（若干名）

2. 出願資格

【2023年4月入学】

(1) 一般選抜

次の各号のいずれかに該当する女子

- ①学校教育法第52条に定める大学を卒業した者又は2023年3月31日までに卒業見込みの方
- ②大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者又は2023年3月31日までに授与される見込みの方
- ③外国において、学校教育における16年の課程を修了した方又は2023年3月31日までに修了見込みの方
- ④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した方又は2023年3月31日までに修了見込みの方
- ⑤文部科学大臣の指定した方—教育職員免許法による小学校、中学校、高等学校若しくは幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有する方で22歳に達した方、およびその他の方、等—（昭和28年文部省告示第5号）
- ⑥大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本学大学院研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた方
- ⑦本学大学院研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方で22歳に達した方（2023年4月1日現在）
- ⑧本学大学院研究科において、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方

(2) 社会人特別選抜

次の各号のいずれかに該当し、かつ、社会人として3年以上の経験を有する女子

- ①学校教育法第52条に定める大学を卒業した方
- ②大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された方
- ③外国において、学校教育における16年の課程を修了した方
- ④文部科学大臣の指定した方（昭和28年文部省告示第5号）
- ⑤本学大学院研究科において、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方

(3) 外国人留学選抜

日本国籍以外の国籍を有し、次の各号のいずれかに該当する女子

- ①日本の大学を卒業した方、又は2023年3月31日までに卒業見込みの方
- ②外国において学校教育における16年以上の課程を修了した方、又は2023年3月31日までに修了見込みの方
- ③外国において学校教育における15年の課程を修了し、本学大学院研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた方
- ④本学大学院研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方で22歳に達した方（2023年4月1日現在）

（注）本学大学院での講義・演習・実験・研究指導は日本語で行われるので、受講に支障のない日本語能力が必要である。

(4) 特待生選抜

今年度大学卒業見込みの方で、本大学院志望確実にして、次の全ての条件に該当し、特待生として出身大学長の推薦を受けた方

- ①本学大学院建学の精神を理解し、これによる自己の人格形成を図ろうとする方
- ②学業成績、人物、健康ともに優れ、勉学の意思強固にして社会的奉仕の精神旺盛な方
- ③経済的事由により、本大学院への進学が困難と認められる方

募集人員 研究科1学年に1名程度とします。同一大学からの志望者は、1名以内とします。

特典 入学を許可された方は、入学金および授業料の全部又は一部を免除します。この特典の期間は所定の修業年限とします。ただし、本学大学院特待生規程に定めた資格を欠いた場合は取り消すことがあります。

【2022年9月入学】

前頁出願資格の「2023年3月31日」および「2023年4月1日」を「2022年9月1日」と読替えてください。

3. 受付期間・選抜日・合否通知発送日・手続締切日

期		項目	受付期間	選抜日	合否通知発送日	手続締切日
		2022年 9月入学	2022年6月27日(月) ～ 2022年7月8日(金)	2022年7月15日(金)	2022年7月27日(水)	2022年8月5日(金)
2023年 4月入学	I期		2022年9月12日(月) ～ 2022年9月30日(金)	2022年10月15日(土)	2022年10月21日(金)	2022年11月4日(金)
	II期		2022年11月15日(火) ～ 2022年12月8日(木)	2022年12月17日(土)	2022年12月23日(金)	2023年1月12日(木)
	III期		2023年1月27日(金) ～ 2023年2月6日(月)	2023年2月13日(月)	2023年2月24日(金)	2023年3月3日(金)
備考			締切日必着	当日は9:10までに、試験室入室のこと。外国人留学選抜生・昼夜開講生は10:50までに入室のこと。	本人あてに「レターパックプラス」で発送します。	

4. 出願書類

- (1)入学願書(所定用紙)
- (2)卒業証明書又は卒業見込証明書
- (3)成績・単位修得証明書
- (4)取得教員免許状の写し又は取得見込証明書(該当する方のみ)
- (5)特待生推薦書(特待生のみ、所定用紙)
- (6)所得証明書(特待生のみ)
- (7)外国籍の方は、外国人登録済証明書
- (8)在職中の志願者は、所属長の受験承諾書(A4判・様式自由・社会人特別選抜のみ)

退職して入学する予定の者は、本人がその旨明記した文書(押印必要)をもって、受験承認書に代えることができます。ただし、この場合は、入学手続き時に「退職証明書」を提出してください。

- (9)志願票返信用レターパックプラス(志願者の郵便番号・住所・氏名を、お届け先(To)部分へ明記し、出願書類に同封してください。) ※持参も可能です。P4 6. 出願場所をご覧ください。

5. 検定料

30,000円(払込証明書を願書裏面の所定欄に貼り付けてください。)

6. 出願場所

・レターパックプラスに出願書類を全て入れて郵送してください。

(1)郵送の場合	郵便局かポストに投函し、郵送してください。出願最終日必着です。
(2)持参の場合	月曜日～金曜日 9:00～15:00 (13:05～13:50 を除く (変更になる場合があります。本学のホームページでお知らせしますので確認してください。)) に本学教務部まで持参してください。 土・日・祝日・学園休業日は受付いたしません。 持参する場合は、志願票返信用レターパックプラスのみ準備してください。 また、入学検定料を現金で納入することも可能です。要項に綴じ込まれている所定の用紙に記入して持参してください。

郡山女子大学 教務部

〒963-8503 福島県郡山市開成3丁目25番2号 TEL 024 (932) 4848 (内線 214、215)

7. 選抜方法

一般選抜	【学力試験】 外国語(英語)90分 ※辞書の使用可 (電子辞書可)	【小論文】 家政学に関する課題90分 ※400字詰原稿用紙4枚以内	【面接】 ※社会人特別選抜は研究計画その他についての口述試験 ※外国人留学選抜は日本語の能力を確認します
社会人特別選抜			
外国人留学選抜			
特待生選抜	【学力試験】 外国語(英語)90分 ※辞書の使用可 (電子辞書可)	【小論文】 家政学に関する課題90分 ※400字詰原稿用紙4枚以内	

※上記の内容を総合して判定します。

8. 試験時間割

試験・面接控室入室時間 一般選抜・社会人特別選抜・特待生選抜 8:20～9:00
外国人留学選抜・昼夜開講制選抜 10:00～10:40

選抜方法	試験時間	9:20～10:50	11:00～12:30	13:30～16:00
一般選抜		外国語(英語)	小論文	面接
社会人特別選抜		外国語(英語)	小論文	面接
外国人留学選抜			外国語(英語)	面接
特待生選抜		外国語(英語)	小論文	面接
昼夜開講制			小論文	面接

9. 試験会場

本学

10. 学 費

(単位:円)

内訳	区分	金額	備考
入 学 金		200,000	入学時のみ納入(本学卒業生は免除)
授 業 料		600,000	年額
教 育 充 実 費		200,000	年額
施 設 充 実 費		100,000	年額

入学手続時納付金は初年度一括納入の場合は、1,100,000円

半期毎分納の場合は、手続時650,000円、後期(10月)450,000円となります。

11. 奨 学 金

独立行政法人日本学生支援機構の奨学金の貸与を受けることができます。希望する方は入学後学生生活部に申込みください。

12. 学位の授与

本大学院修士課程に2年以上在学して30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格した方は修士課程を修了したことが認定され、修了証書及び修士(家政学)の学位が授与されます。

修士課程 昼夜開講制（人間生活学研究科 人間生活学専攻）

生涯学習社会を豊かに学ぶとともに校務を続けながら中学校および高等学校教諭専修免許状(家庭)を取得することができます。

1. 募集定員

【2023年4月入学】 計10名

人間生活学研究科 人間生活学専攻（修士課程）

一般選抜・社会人特別選抜（若干名）・外国人留学選抜（若干名）・特待生選抜・昼夜開講制（若干名）

【2022年9月入学】 若干名

人間生活学研究科 人間生活学専攻（修士課程）

一般選抜・社会人特別選抜（若干名）・外国人留学選抜（若干名）・特待生選抜・昼夜開講制（若干名）

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する女子

- ①学校教育法第52条に定める大学を卒業した方
- ②大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された方
- ③外国において、学校教育における16年の課程を修了した方
- ④文部科学大臣の指定した方—教育職員免許法による小学校、中学校、高等学校若しくは幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有する方で22歳に達した方、及びその他の方、等—（昭和28年文部省告示第5号）
- ⑤短大卒業後、2年以上の実務経験を有する方
- ⑥本学大学院研究科において、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方

3. 受付期間・選抜日・合否通知発送日・手続締切日

期	項目	受 付 期 間	選 抜 日	合否通知発送日	手続締切日
2022年 9月入学		2022年6月27日(月) 2022年7月8日(金)	2022年7月15日(金)	2022年7月27日(水)	2022年8月5日(金)
2023年 4月入学	I 期	2022年9月12日(月) 2022年9月30日(金)	2022年10月15日(土)	2022年10月21日(金)	2022年11月4日(金)
	II 期	2022年11月15日(火) 2022年12月8日(木)	2022年12月17日(土)	2022年12月23日(金)	2023年1月12日(木)
	III 期	2023年1月27日(金) 2023年2月6日(月)	2023年2月13日(月)	2023年2月24日(金)	2023年3月3日(金)
備考		締切日必着	当日は9:10までに、試験室入室のこと。外国人留学選抜生・昼夜開講生は10:50までに入室のこと。	本人あてに「レターパックプラス」で発送します。	

4. 出願場所

・レターパックプラスに出願書類を全て入れて郵送してください。

(1)郵送の場合	郵便局かポストに投函し、郵送してください。出願最終日必着です。
(2)持参の場合	月曜日～金曜日 9:00～15:00 (13:05～13:50を除く(変更になる場合があります。本学のホームページでお知らせしますので確認してください。)) に本学教務部まで持参してください。 土・日・祝日・学園休業日は受付いたしません。 持参する場合は、志願票返信用レターパックプラスのみ準備してください。 また、入学検定料を現金で納入することも可能です。要項に綴じ込まれている所定の用紙に記入して持参してください。

郡山女子大学 教務部

〒963-8503 福島県郡山市開成3丁目25番2号 TEL 024(932)4848 (内線 214、215)

5. 出願書類

- (1)入学願書（所定用紙）
- (2)卒業証明書又は卒業見込証明書
- (3)成績・単位修得証明書
- (4)取得教員免許状の写し又は取得見込証明書（該当する方のみ）
- (5)外国籍の者は、外国人登録済証明書
- (6)在職中の志願者は、所属長の受験承諾書（A4判・様式自由・社会人特別選抜のみ）
退職して入学する予定の者は、本人がその旨明記した文書（押印必要）をもって、受験承認書に代えることができます。ただし、この場合は、入学手続き時に「退職証明書」を提出してください。
- (7)志願票返信用レターパックプラス（志願者の郵便番号・住所・氏名を、お届け先（To）部分へ明記し、出願書類に同封してください。）※持参も可能です。P4 6. 出願場所をご覧ください。

6. 検定料

30,000 円（払込証明書を願書裏面の所定欄に貼り付けてください。）

7. 選抜方法

小論文及び面接試験の成績を総合して判定します。

- ・小論文 家政学に関する課題 90 分 400 字詰原稿用紙（B4 判）4 枚以内
- ・面接 研究計画、その他についての口述試問

8. 試験時間割

試験・面接控室入室時間 一般選抜・社会人特別選抜・特待生選抜 8：20～9：00
外国人留学選抜・昼夜開講制選抜 10：00～10：40

選抜方法	試験時間	9：20～10：50	11：00～12：30	13：30～16：00
一般選抜		外国語（英語）	小論文	面接
社会人特別選抜		外国語（英語）	小論文	面接
外国人留学選抜			外国語（英語）	面接
特待生選抜		外国語（英語）	小論文	面接
昼夜開講制			小論文	面接

9. 試験会場 本学

10. 学費

授業料は、修得1単位4万円の額により、修了に必要な30単位分の額を納入します。その他に、修士論文指導料として20万円納入します。なお、入学金はありません。納入方法としては、各学期毎に履修する単位数により学費の納入となります。

11. 奨学金

独立行政法人日本学生支援機構の奨学金の貸与を受けることができます。希望する方は入学後学生生活部に申込みください。

12. 学位の授与

本大学院修士課程に2年以上在学して30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格した方は修士課程を修了したことが認定され、修了証書及び修士（家政学）の学位が授与されます。

13. 履修方法及び時間

1. 1年制コース
2. 2年制コース
3. 長期在学コース（超2年） ゆとりをもってじっくりと学ぶコースです。
※上記1～3の履修方法の他に、昼間時間（月曜日～金曜日 I～V 時限 8：50～17：40）の履修及び昼間時間との併用も可能です。

1. 募集定員

【2023年4月入学】 計3名

人間生活学研究科 人間生活学専攻 博士(後期)課程
一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学選抜

【2022年9月入学】 若干名

人間生活学研究科 人間生活学専攻 博士(後期)課程
一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学選抜

2. 出願資格

【2023年4月入学】

(1) 一般選抜

次の各号のいずれかに該当する女子

- ①修士の学位を有する方又は2023年3月31日までに取得見込みの方
- ②外国において修士の学位に相当する学位を授与された方又は2023年3月31日までに授与される見込みの方
- ③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を授与された方又は2023年3月31日までに授与される見込みの方
- ④文部科学大臣の指定した方—大学を卒業し、又は外国で学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所において2年以上研究に従事した方で、本学大学院研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する方と同等以上の学力があると認めた方—(平成元年文部省告示第118号)
- ⑤本学大学院研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する方と同等以上の学力があると認めた方で24歳に達した方(2023年4月1日現在)
- ⑥本学大学院研究科において、修士の学位を有する方と同等以上の学力があると認めた方

(2) 社会人特別選抜

技術者・教員・研究者等で官公庁・学校・企業等に2年以上勤務した方で、次のいずれかに該当する女子

- ①修士の学位または専門職学位を有する方
- ②外国において、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された方
- ③文部科学大臣の指定した者(平成元年文部省告示第118号)
「大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本学大学院が認めた者」および「外国において学校教育における16年の課程を修了した後、または外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本学大学院が認めた者」
- ④本学大学院において修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

※出願資格③、④に該当する場合は、予備審査を行うので、願書受付開始1ヵ月程度前までにお問い合わせください。

(3) 外国人留学選抜

日本国籍以外の国籍を有し、次の各号のいずれかに該当する女子

- ①日本の大学院博士前期課程(修士課程)を修了した方、又は2023年3月31日までに修了見込みの方
- ②外国において修士の学位に相当する学位を授与された方、又は2023年3月31日までに修了見込みの方
- ③本学大学院研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する方と同等以上の学力があると認めた方で24歳に達した方(2023年4月1日現在)

(注) 本学大学院での講義・演習・実験・研究指導は日本語で行われるので、受講に支障のない日本語能力が必要である。

【2022年9月入学】

上記出願資格の「2023年3月31日」および「2023年4月1日」を「2022年9月1日」と読替えてください。

3. 受付期間・選抜日・可否通知発送日・手続締切日

期	項目	受 付 期 間	選 抜 日	可否通知発送日	手続締切日
2022年 9月入学		2022年6月27日(月) 2022年7月8日(金)	2022年7月15日(金)	2022年7月27日(水)	2022年8月5日(金)
2023年 4月入学	I期	2022年9月12日(月) 2022年9月30日(金)	2022年10月15日(土)	2022年10月21日(金)	2022年11月4日(金)
	II期	2022年11月15日(火) 2022年12月8日(木)	2022年12月17日(土)	2022年12月23日(金)	2023年1月12日(木)
	III期	2023年1月27日(金) 2023年2月6日(月)	2023年2月13日(月)	2023年2月24日(金)	2023年3月3日(金)
備考		締切日必着	当日は9:10までに、試験 室入室のこと。外国人留 学選抜生は10:50までに 入室のこと。	本人あてに 「レターバックプラス」で 発送します。	

4. 出願書類及び検定料

- (1)入学願書（所定用紙）
- (2)大学院修士課程の修了証明書又は修了見込証明書
- (3)成績・単位修得証明書
- (4)修士論文の要旨、最近5年間の主な研究業績書（論文要旨を記載したもの）
- (5)外国籍の者は、外国人登録済証明書
- (6)在職中の志願者は、所属長の受験承諾書（A4判・様式自由・社会人特別選抜のみ）

退職して入学する予定の者は、本人がその旨明記した文書（押印必要）をもって、受験承諾書に代えることができます。ただし、この場合は、入学手続き時に「退職証明書」を提出してください。

- (7)志願票返信用レターバックプラス（志願者の郵便番号・住所・氏名を、お届け先（To）部分へ明記し、出願書類に同封してください。） ※持参も可能です。P4 6. 出願場所をご覧ください。

5. 検 定 料

30,000 円（払込証明書を願書裏面の所定欄に貼り付けてください。）

6. 出 願 場 所

- ・レターバックプラスに出願書類を全て入れて郵送してください。

(1)郵送の場合	郵便局かポストに投函し、郵送してください。出願最終日必着です。
(2)持参の場合	月曜日～金曜日 9:00～15:00 (13:05～13:50 を除く（変更になる場合があります。本学のホームページでお知らせしますので確認してください。)) に本学教務部まで持参してください。 土・日・祝日・学園休業日は受付いたしません。 持参する場合は、志願票返信用レターバックプラスのみ準備してください。 また、入学検定料を現金で納入することも可能です。要項に綴じ込まれている所定の用紙に記入して持参してください。

郡山女子大学 教務部

〒963-8503 福島県郡山市開成3丁目25番2号 TEL 024(932)4848(内線214、215)

7. 選 抜 方 法

一般選抜	【学力試験】 外国語(英語)90分 ※辞書の使用可 (電子辞書可)	【小論文】 家政学に関する課題90分 ※400字詰原稿用紙4枚以内	面接で修士論文又は最近の業績についての質問をするので、説明にパワーポイント等を使用する場合はUSBメモリ、プリント等持参すること
社会人特別選抜			研究経過、研究計画、その他についての口述試験
外国人留学選抜			面接で修士論文又は最近の業績についての質問をするので、説明にパワーポイント等を使用する場合はUSBメモリ、プリント等持参すること。 なお、日本語の能力も確認します。

※上記の内容を総合して判定します。

8. 試験時間割 試験・面接控室入室時間 一般選抜・社会人特別選抜 8:20～9:00
外国人留学選抜 10:00～10:40

選抜方法 \ 試験時間	9:20～10:50	11:00～12:30	13:30～16:00
一般選抜	外国語(英語)	小論文	面接
社会人特別選抜	外国語(英語)	小論文	面接
外国人留学選抜		外国語(英語)	面接

9. 試験会場 本学

10. 学 費

(単位:円)

内 訳 \ 区 分	金 額	備 考
入 学 金	200,000	入学時のみ納入(本学修了生は免除)
授 業 料	600,000	年額
教 育 充 実 費	200,000	年額
施 設 充 実 費	100,000	年額

入学手続時納付金は初年度一括納入の場合は、1,100,000円

半期毎分納の場合は、手続時650,000円、後期(10月)450,000円となります。

※社会人特別選抜の学費は修得1単位5万円の額により、修了に必要な12単位分の額を納入します。その他に、博士論文指導料として毎年20万円納入します。なお、入学金はありません。納入方法としては、各学期毎に履修する単位数により学費の納入となります。

11. 奨 学 金

独立行政法人日本学生支援機構の奨学金の貸与を受けることができます。希望する方は入学後学生生活部に申込みください。

12. 学位の授与

本大学院に5年(修士課程を修了した方は、当該課程における2年の在学期間を含む)以上在学して、42単位(修士課程を修了した方は、当該課程において修得した単位を含む)以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格した方は博士課程を修了したことが認定され、修了証書及び博士(家政学)の学位が授与されます。

大学院の入学選抜その他に関するお問い合わせは教務部へ

〒963-8503 福島県郡山市開成3丁目25番2号

TEL 024(932)4848(内線214、215) FAX 024(933)1957

URL <https://www.koriyama-kgc.ac.jp/>

E-mail nyushi@koriyama-kgc.ac.jp

©「個人情報の保護に関する法律」に基づき、資料請求での個人情報については利用目的に沿って適正に取扱います。

障がい等のために受験及び 修学上の特別な配慮が必要な志願者について

障がい有するため、あるいは病気やけが等のために受験及び修学上の特別な配慮を必要とする志願者は、出願に先立って、あらかじめ本学に電話にて事前相談の申請を行ってください。なお、この事前相談は合否の判定に関わるものではありません。

(1) 事前相談の締切日 各選抜日程の出願開始日の1か月前

(2) 事前相談の方法 本学において、志願者及び関係者等と面談を実施し配慮内容を決定します。その際、医師の診断書等の提出を求める場合があります。

(3) 事前相談の申請先・問い合わせ先 入学事務・広報部 **TEL 024-932-4848** (内線 212、300)
9:00～17:00

入学者選抜実施に関する自然災害等の対応について

台風等の災害により入学者選抜実施に影響を及ぼす場合、**当日午前6時10分ごろ**に、本学ホームページでお知らせします。スマートフォン・パソコン等により確認し、対応するようにしてください。

アクセス手順

- ①スマートフォン・パソコンから、
本学ホームページにアクセス。
- ②ホームページ上のトップ画面を
上にスクロールする。(写真A)
- ③お知らせがある場合には、
インフォメーションバナーの下、
「TOPICS」にてお知らせします。
(写真B)



写真A



写真B

ホームページアドレス **<https://www.koriyama-kgc.ac.jp/>**

(特にお知らせがない場合は、予定通り実施いたします。)

修士（家政学）学位論文

平成 18 年度

1. 福島県内未利用農産物を用いたナタデココ様産物による食品開発
2. 男子高校生運動選手における貧血および鉄強化飲料の影響
3. 認知症高齢者のグループホームにおけるケアについて

平成 19 年度

1. 高等学校における家庭科教育についての研究
——人間守護理念を中心とした生活行為の在り方——
2. なれずしに関する食文化並びに微生物学的研究
3. 学童期の食生活に及ぼす家族構成の影響

平成 20 年度

1. 住宅における育児空間に関する調査研究——育児感情と空間構成との関連——
2. フランスにおける少子化対策に関する研究——日本との比較を通して——

平成 21 年度

1. 福島県の学校給食の変遷に関する研究
2. 幼稚園児の食生活に及ぼす食嗜好や食事指導の影響に関する研究

平成 22 年度

1. 糖尿病に与える食生活の影響に関する研究
2. 水田生態系に存在するミジンコ類に対する化学物質の影響について
3. 女子大学生の即席麺摂取に関する実態及び意識調査
4. 南会津の伝統食品「水あめ」の食文化ならびに食科学に関する研究

平成 23 年度

1. 福島県産エゴマの成分と利用に関する研究

平成 24 年度

1. 個室ユニット型特別養護老人ホームに関する研究——その本質的意味とあり方の探究——
2. 住宅におけるバリアフリー化に関する研究——今後の方向性を探索する上での基礎的調査——

平成 26 年度

1. 高齢者の褥瘡に対する栄養ケア

平成 27 年度

1. 生活の外部化に関する研究——福島県郡山市を中心として——
2. 障害児の保護者における支援ニーズに関する研究
——福島県内の特別支援学校に通う児童・生徒の保護者に対するアンケートを通して——

平成 29 年度

1. 発酵食品の開発に関する研究——麹菌を用いた発酵食品の開発——
2. 子どもにおけるいじめの現状と対応についての考察
——特に学校教育の実態と取り組みを中心に——
3. 健康日本 21（第二次）における野菜の摂取と経済的・栄養学的要件を考慮した献立の模索

平成 30 年度

1. ミリタリーファッションからストレスマネジメントの必要性を考える
2. 福島県における雪害対策に関する基礎的研究——市町村の防災力評価について——
3. 開墾地移住奨励制度における共同建造物の特徴と住宅地計画との関係に関する研究

令和元年度

1. 福島市飯坂温泉の民家・町家の特質と集落構成の変遷に関する調査研究
2. 近代の和風教会堂建築の特徴とその成立要因に関する研究
3. 児童生徒の食生活と QOL の関連性
——学校や家庭での食に対する意識から——

令和2年度

1. 青森県の伝統的汁物に関する食文化及び調理科学的研究
——主に津軽地方のじゃっば汁、南部地方のせんべい汁を中心として——

令和3年度

1. 常盤炭田における社宅街の計画実態とその特徴
2. 住宅建築における空間構成に関する研究
——住空間にもたらす心理的作用と映像効果について——

博士（家政学）学位論文

平成14年度

1. 人間形成における家庭教育の本質としての対話に関する研究
2. 高等学校家庭科『家庭一般』の「家族と家庭生活」領域に関する研究
——家政学における人間守護理念を中核として——
3. 人間の健康と活性酵素・フリーラジカル（こげから生ずる活性酸素）
4. 女性の労働に関する人間生活学的研究
——オーストラリア原住民アボリジニの生活内容と比較して——
5. 人間の生活における自然に対する感受性
——宗教的な観点を中心とした日本人と欧米人の比較研究——

平成16年度

1. 水質汚濁と微生物生態について——尾瀬沼・猪苗代湖の水環境——

平成20年度

1. 伝統発酵食品に関する食文化的、食品衛生学および微生物学的研究
2. 再考：料理と健康——食物の摂取方法の再検討と新しい抗酸化食品の探索——

平成22年度

1. 赤ワインポリフェノール類の醸造特性と抗酸化能に関する研究
（ワインと人間生活の関わりの歴史的背景を踏まえて）

平成23年度

1. 公共建築における木材利用と木育に関する研究
——福島県の木材利用活性化を目指した基礎的研究——

令和3年度

1. 地域生活者の栄養教育ツールの考案
——精神疾患患者と若年女性を対象として——

【納入金額】

◎入学検定料 大学院 30,000円

振 込 領 収 書

(入学検定料振込領収書)

依頼日	(西暦)	年	月	日
金 額		百万	千	円
	¥	3	0	0
先方銀行	東邦銀行郡山営業部			
受取人	学校法人 郡山開成学園			
ご依頼人 (志願者)	出身学校		番号	志望課程
	(フリガナ)			
	氏 名			
手数料				円

取扱銀行 収納印		上記金額を領収しました

(取扱店→依頼人)

払 込 証 明 書

(入学検定料払込証明書)

依頼日	(西暦)	年	月	日
金 額		百万	千	円
	¥	3	0	0
先方銀行	東邦銀行郡山営業部			
受取人	学校法人 郡山開成学園			
ご依頼人 (志願者)	出身学校		番号	志望課程
	(フリガナ)			
	氏 名			

取扱銀行 収納印		※振込後の用紙を「入学願書」の所定欄に貼付して学校へ提出してください

(取扱店→依頼人)

振 込 通 知 書

(入学検定料振込通知書)

依頼日	(西暦)	年	月	日
金 額		百万	千	円
	¥	3	0	0
先方銀行	東邦銀行郡山営業部 普通預金 No.767194			
受取人	学校法人 郡山開成学園			
ご依頼人 (志願者)	出身学校		番号	志望課程
	(フリガナ)			
	氏 名			
(TEL)				

取扱銀行 収納印		上記のとおり振込を取扱いしましたので通知いたします

(取扱店→取まとめ店→受取人)

振 込 依 頼 書

ご依頼日	(西暦)	年	月	日	電信扱	手数料				円
先方銀行	東邦銀行郡山営業部					金額		百万	千	円
						¥	3	0	0	0
受取人	預金種別	普通	口座番号	767194	内 訳	現金				
						当手				
						他手				
ご依頼人 (志願者)	出身学校		番号	志望課程	領収印または振替印					
	(フリガナ)									
	氏 名									

※受付銀行ご担当者様へのお願い:必ず依頼人の 志望課程番号・氏名の順に打電 してください。

(取扱店保管)

※志望課程番号欄には、下記の表から選択し、番号を記入してください。

※振込通知書には電話番号を記入してください

志望課程番号

課程名	志望課程番号
修士課程	01
修士課程昼夜開講制	02
博士（後期）課程	03

※出願用レターパックプラス(赤い帯)での宛

名ラベルです。切り取ってご利用ください。

※志願票返信用のレターパックプラス(赤い帯)には貼らないでください。

〒963-8503

福島県郡山市開成3丁目25番2号

郡山女子大学大学院

教務部 行

出願書類在中

〒963-8503

福島県郡山市開成3丁目25番2号

郡山女子大学大学院

教務部 行

出願書類在中

■レターパックプラスでの郵送方法

出願書類等は、レターパックプラス(赤い帯、520円)に入れて郵送してください。その際、志願票返信用のレターパックプラス(赤い帯)を二つ折りにし、同封してください。

出願用レターパックプラス(赤い帯)の記入例

① To／お届け先

●Toのところに右下の宛名ラベルを貼り付けてください。郵便番号部分には、「963-8503」と記入してください。

② From／ご依頼主

●Fromのところに、自分の住所・氏名、電話番号を記入してください。

③ 品名

●品名部分には「出願書類」と書き、出願する出願課程(修士課程等)と、選抜方法(一般選抜等)を必ず記入してください。

④ 志願票返信用レターパックプラス(赤い帯)を同封する

●志願票返信用のレターパックプラス(赤い帯)は、一番上の郵便番号に現住所の郵便番号を記載してください。

●「To」部分には自分の住所等を記入してから二つ折りにして、出願書類と一緒に出願用レターパックプラス(赤い帯)に同封してください。(印字されている内容はそのままにしてください)

●「様」は消さずに同封してください。

※確実に受け取れる住所を記入してください。

⑤ 出願用レターパックプラス(赤い帯)を閉じる

●出願用レターパックプラス(赤い帯)を閉じる前に右記表のチェックを行い、封をしてください。

⑥ 最後に

●「はがして差出し」部分をはがしてから、郵送してください。はがした部分にある番号を使用して、郵便追跡で郵便物の状況を確認できます。

ラベル貼り付け位置

自分の住所等を記入

出願書類
修士課程 一般選抜

はがして差出し

9638503

9999-9999-9999

※封をする前に、必ず最終確認をしてください。

☐	入学願書及び志願票はきちんと記入、チェックされていますか。 (記入の間違い箇所は、二重線で訂正し、訂正印を押してください。)	☐	出願書類は、きちんとそろっていますか。
☐	入学願書及び志願票は、黒のペンで書かれていますか。(鉛筆書きは不可です。)	☐	志願票返信用のレターパックプラス(赤い帯)を二つ折りにして同封しましたか。 また、「To」部分には自分の住所等を記入しましたか。
☐	払込証明書は、のりで貼り付けていますか。		

※直接窓口を持参する場合は、志願票返信用レターパックプラス(赤い帯)のみ準備してお届けください。

入学願書

受付月日*

志願番号*

太枠内を記入してください。

出願期(該当する□にチェック)		☐ 2022年9月入学		(2023年4月入学) ☐ Ⅰ期 ☐ Ⅱ期 ☐ Ⅲ期	
研究科専攻名	人間生活学研究科 人間生活学専攻				
出願課程 (該当する) (□にチェック)	☐ 修士課程 ☐ 修士課程昼夜開講制 ☐ 博士(後期)課程	選抜方法 (該当する) (□にチェック)	☐ 一般選抜 ☐ 外国人留学選抜 ☐ 社会人特別選抜 ☐ 特待生選抜		
ふりがな				生年月日	
志願者氏名				西暦 年 月 日生 (歳)	
ふりがな					
現住所	〒 ー 志願者電話番号 () ー				
志願者の 出身学校および 出願資格等	年 月 国・公・私立 大学		学部 科卒業 卒業見込 大学評価・学位授与機構より 学士の学位授与		
緊急連絡先	ふりがな 保護者等 氏名	電話番号 () ー		志願者との続柄	

切り離さないで折って封入してください

志願票

※本学記入欄

志願番号*

出願期 (該当する) (□にチェック)	☐ 2022年9月入学	(2023年4月入学) ☐ Ⅰ期 ☐ Ⅱ期 ☐ Ⅲ期	
研究科 専攻名	人間生活学研究科 人間生活学専攻		写真貼付 ●上半身正面無帽の もので、3ヶ月以内に 撮影したもの ●縦4cm×横3cm ●写真の裏に氏名・専攻 名・出願課程を明記。 ●入学願書と志願票は 同一の写真とする。
出願課程 (該当する) (□にチェック)	☐ 修士課程 ☐ 修士課程昼夜開講制 ☐ 博士(後期)課程		
選抜方法 (該当する) (□にチェック)	☐ 一般選抜 ☐ 社会人特別選抜 ☐ 外国人留学選抜 ☐ 特待生選抜		
ふりがな			
氏名			
生年月日	西暦 年 月 日生 (歳)		

学 歴	年 月 国・公・私立 高等学校 科卒業
	年 月 高等学校 卒業程度認定試験合格
	年 月 国・公・私立 大学 学部 科卒業 卒業見込
	年 月 大学評価・学位授与機構より 学士の学位授与
入学後特に研究したい事項	
修了後の進路の希望等	

払込証明書を全面のりで貼付けしてください。

切り離さないで折って封入してください

志願者注意事項

1. 志願票は当日必ず持参してください。志願票を持参しない方は会場への入場はできません。
2. 会場では志願票を机上に提示してください。
3. 会場内では鉛筆・消しゴム等定められた用具以外はまとめてカバン等に入れ足元に置いてください。
4. 来学時間は同封の別紙を参照してください。

入学者選抜実施に関する自然災害等の対応について

台風等の災害により入学者選抜実施に影響を及ぼす場合、本学ホームページにお知らせを掲示いたします。お知らせは、午前6時以降に掲示されます。パソコン、スマートフォン等により確認し対応するようにしてください。

ホームページアドレス

<https://www.koriyama-kgc.ac.jp/> (特にお知らせがない場合は、予定通り実施いたします。)

特待生推薦書

学 長 関 口 修 殿

(西曆) 年 月 日

校長名

志願者氏名

西曆 年 月 日生

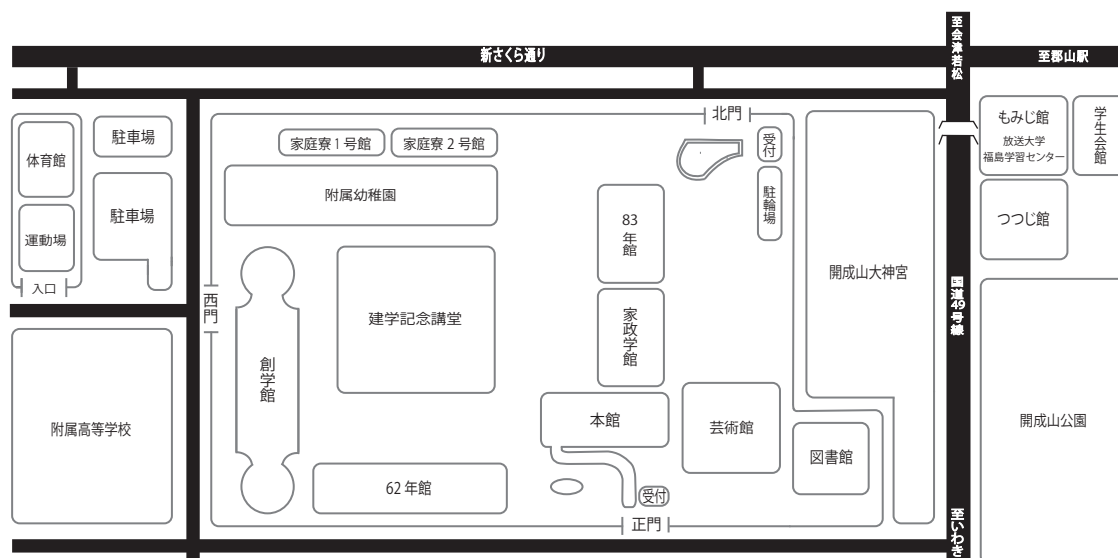
[illegible]

印

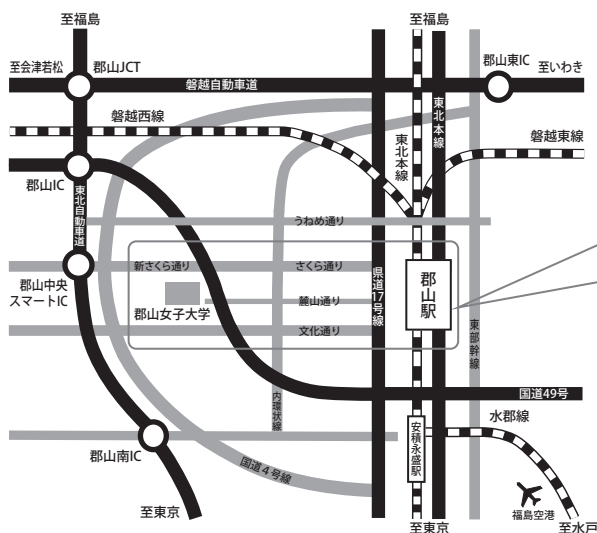
き り と り せ ん

CAMPUS MAP

本学園の施設配置です。本学園へ自家用車でお越しの際は、下記に記載された指定駐車場をご利用ください。



ACCESS MAP



郡山女子大学までのアクセス

●高速バス

「郡山女子大学」で下車

- 郡山⇄喜多方
- いわき⇄郡山⇄会津若松
- 郡山⇄仙台

「郡山市役所」で下車

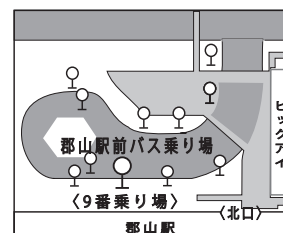
- 郡山⇄新潟

●タクシー 郡山駅より(約20分)

●福島交通 路線バス(約25分)

郡山駅前 9番線乗り場より乗車し「郡山女子大学」で下車

- 市役所経由 大槻行き
- 市役所経由 新池下団地行き
- 市役所経由 希望ヶ丘行き
- 市役所経由 静団地行き
- 市役所・柴宮経由 免許センター行き
- あすなろ循環 (市役所回り)



入試に関するご質問・お問い合わせはこちら

教務部

〒963-8503 福島県郡山市開成3丁目25番2号
TEL 024-932-4848 (代表)
(8:30~17:00)

mail nyushi@koriyama-kgc.ac.jp

web https://www.koriyama-kgc.ac.jp/



※「個人情報の保護に関する法律」に基づき、資料請求や出願での個人情報については、利用目的に沿って、適正に取り扱います。



学校法人 郡山開成学園

郡山女子大学大学院
郡山女子大学
郡山女子大学短期大学部
郡山女子大学附属高等学校
郡山女子大学附属幼稚園

〒963-8503 福島県郡山市開成三丁目25番2号

TEL 024(932)4848(代)

FAX 024(933)8388

URL <https://www.koriyama-kgc.ac.jp/>

E-mail nyushi@koriyama-kgc.ac.jp